

## 海外投資家対応に関する懇談会を開催 —アクティビズムの拡大に備える—

2026年4月8日

講師：アリ・サリバス スクエアウェル・パートナーズ パートナー

大谷みな子 Kekst CNC パートナー兼日本共同代表



経済広報センター（筒井義信会長）は4月8日、東京・大手町の経団連会館で、懇談会「海外投資家  
にいかに対応すべきか～企業価値向上のための関係構築」を開催した。

株主対策を手掛ける英スクエアウェル・パートナーズのアリ・サリバス パートナー、米独戦略PR  
コンサルティング会社Kekst CNCの大谷みな子 パートナー兼日本共同代表が、海外投資家を  
対象とする調査報告書を紹介した。

報告書は2025年秋に両社が共同で作成したもの。アクティビストを含む海外投資家との信頼関係の  
構築や実務対応の要点を概説した。

### ■高まる海外投資家の日本市場への期待

大谷氏は、日本市場への資金流入が増え、海外投資家の期待が高まっていると説明。データ以外に、  
企業の意思決定の背景にも関心が寄せられていると述べた。

サリバス氏は、アクティビズムは、株主還元や事業戦略の見直し、取締役会の監督機能の改善にまで  
及ぶため、事前準備が重要であると指摘した。

### ■ガバナンスの独立性確保と対話の深化

サリバス氏は、投資家にとって、①取締役会議長の独立性と透明性の追求②独立取締役の過半数確保  
やCEO選任での優れた外部候補の検討が重要との考えを示した。

大谷氏は、平時から投資家との双方向の対話を意識し、時には投資家に質問をすることで、投資家の  
考え方を理解するとともに、信頼関係を構築しやすくなると助言した。

最後に大谷氏は、アクティビストの圧力が強まる前に、意思決定の背景にある思考を主体的に示し、対話を進めるべきと強調し、締めくくった。

以 上

---

一般財団法人

## 経済広報センター

国際広報部

〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-3-2 経団連会館 19 階

電話：03-6741-0031

<https://www.kkc.or.jp/>

<https://en.kkc.or.jp/>

※本稿の無断転載を禁じます。